

令和4年度 東久留米市立本村小学校 学校評価報告書

学校教育目標	◎創る・・・互いに考えを深め合い、創造していく児童の育成 ◎思いやる・・・自他のよさに気付き、互いに認め合う心豊かな児童の育成 ◎活きる・・・健康で、何事にも意欲的に活動する児童の育成	教育ビジョン	【目指す学校像】 今日が楽しく、明日が待たれる学校～笑顔輝き、歌声響く学校～
		【目指す児童・生徒像】	夢・希望・期待をもって登校し、仲間とのかかわり合いを通して生き生きと過ごし、自分の良さを発揮する子 あ：明るく元気にあいさつをする子 い：いつも真剣に学習する子 う：運動をすすんでする子 え：笑顔で「はい！」と返事をする子 お：思いやりの心をもって友達と協力
		【目指す教師像】	子供を愛し、指導力・授業力の向上を目指し、互いに切磋琢磨し合う教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	【成果】○校務分掌の改編等、組織的な学校運営のための基盤が構築できた。 ○週時程表、各教科の年間指導計画の見直し等、 【課題】○基礎学力及び体力のさらなる定着・向上 ○主体的、自治的にかかわり合う力の醸成 ○教員の授業力の向上		

東久留米市第2次教育振興基本計画				中期経営目標 (令和6年度までの3年間)	短期経営目標 (1年間)	評価指標・評価基準		自己評価		学校関係者評価		次年度の方策
No.	四つの柱	基本施策	今年度学校で重点を置く「具体的施策」			取組指標	成果指標	取組	成果	評価	コメント	
1	II 学力向上	生涯にわたって育む健やかな体づくり	心身の健康の保持増進に関する指導の充実	「すすんで外遊びや体力づくりをしている」を80%以上にする。	体力づくりに関する指導を年間を通して計画的に行う。	・縄跳び週間、マラソン旬間を設定し、全校で取り組む。 ・体力アップウィーク(1月)を設定し、全校で持久走に取り組む。 ・外遊びの日(月1回)を設定し、クラス遊びや教師も遊ぶ日とする。	「すすんで外遊びや体力づくりをしている」が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	B	B	B	・新型コロナの終息が見通せない中、感染状況やリスク管理を行いつつ、ここ数年行うことができなかった移動教室や展覧会等の行事を実施することができたのは大変良かったと思います。児童にとって学校行事は、その時の同じ学年・クラスの仲間たちと一緒に取り組む一生に一度の機会であるので、そうした機会を設けることができたのは、校長先生を始め教職員等の方々のご尽力のおかげであると思います。引き続き社会状況を踏まえつつも、本村小の児童のために様々な機会の確保に努めてください。 ・貴校に訪れるたびに印象に残るのは、児童の礼儀正しい行動、社会性のある行動です。親しみのある挨拶を交わすことができることや、「会議中」と書かれた部屋の前で児童が互いに注意し合っ通っていることなどを見るにつけ、健全に育成される環境が整っていると感じられます。展覧会の際に行われた学年同士ペアでの鑑賞やキッズガイドといった取り組みも、こうした好ましい行動の一助となると思われ、今後こうした機会を多く設けていきたいと思っています。 ・近年は、児童本人の成長歴や特性、環境変化等に起因する教育活動の困難性が多々あると思います。そうした中でもその児童にとって、今一番良い支援、方策は何かという視点から、保護者や教員といった大人の視点のみならず、児童本人の意向等もふまえてスクールカウンセラーやあすなろ教室等の機能の利用、充実に努めてもらいたいと思います。	○学力向上の基礎となる体力づくりについて引き続き取り組む ・縄跳び週間、マラソン旬間を設定・カードの工夫 ・体力アップウィーク(1月)を設定・カードの工夫 ・外遊びの日(月1回)を設定。クラス遊びや教師も一緒に遊ぶ日とする。
2	II 学力向上	確かな学力の育成	基礎的・基本的な学力の定着と学ぶ意欲の向上	「自分からすすんで学習できる」を70%以上にする。	学年×10分の家庭学習の習慣を身に付けさせる。保護者会での周知を行う。	・個に応じた指導の充実。 ・読書活動の充実。(朝読書タイム<火>、読書旬間<6月・12月>、読み聞かせ) ・基礎的・基本的な学習内容の充実。(国語・算数タイム)	「自分からすすんで学習できる」が A: 70%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	B	B	B	○基礎的・基本的な学力の定着と学ぶ意欲の向上を図る ・読書活動の充実一朝読書タイム<火・木>、読書旬間<6月・12月>、読み聞かせの工夫と徹底 ・国語・算数タイムの計画的実施と充実	
3	II 学力向上	確かな学力の育成	教員の授業改善、指導力の向上の推進	「授業が分かりやすい」を80%以上にする。	校内研究を充実させる。自己申告の授業観察等も活用し、互いの授業を参観し合い、切磋琢磨する。	・自己申告の授業観察を中心に授業改善を意識させ力量を高めさせる。 ・一人、年1回以上の研究授業を行う。(全国、都、市、校内の研究会で)	「授業が分かりやすい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	B	B	○教員の授業改善、指導力向上を図る ・自己申告の授業観察を中心に具体的に指導を行い、授業改善を意識させ力量を高めさせる。 ・一人、年1回以上の研究授業を行う。(全国、都、市、校内の研究会で)	
4	II 学力向上	体験的な活動	地域や外部人材を生かした体験活動の充実	「GTやATと一緒に学習して楽しかった」を80%以上にする。	企業の出前授業、地域や保護者等の外部人材を活用した創意工夫のあるダイナミックな授業づくりをすすめる。	・各学年、年1回以上、GTやATを活用した授業を行う。	「GT、ATと一緒に学習して楽しかった」が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	A	A	B	○地域や外部人材を生かした体験活動のさらなる充実 ・企業の出前授業、地域や保護者等の外部人材を活用した創意工夫のあるダイナミックな授業づくりをすすめる。	
5	II 学力向上	体験的な活動	地域や保護者と連携した防災教育	「避難訓練や地域防災に真剣に取り組んだ」を70%以上にする。	避難訓練の年間計画を見直すとともに、地域と連携した防災体制づくりを推進する。	・避難訓練の年間計画を見直す。 ・自治会・町会、青少協等と連携した防災体制づくりを進めていく。	「避難訓練や地域防災に真剣に取り組んだ」が A: 70%以上 B: 60%以上 C: 40%以上 D: 40%未満	B	B	B	○地域と連携した防災教育を推進する ・見直しをした年間計画に基づき避難訓練を実施する。 ・自治会・町会、青少協、近隣高等学校等と連携した防災体制づくりを進めていく。	
6	I 健全育成	個性を認め合う教育の推進	人権教育の推進	「友達に思いやりの心をもって生活した」を80%以上にする。	全教育活動を通して人権教育を行う。特に道徳科、学級活動を両輪として確固たる人権感覚を身に付けさせる。	・全校朝会で年3回以上、人権に関する講話を行う。 ・各学級、道徳科の授業公開を年3回以上行う。	「友達に思いやりの心をもって生活した」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	A	A	B	○人権教育の視点にたった教育の推進 ・全校朝会で人権に関する講話を行う。 ・各学級、道徳科の授業公開を年3回以上行う。	
7	I 健全育成	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む教育の推進	規範意識と豊かな人間関係を育む教育	「みんなで話し合ったり、活動したりすることが楽しい」を80%以上にする。	規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む校内研究を推進していく。(特別活動)	・校内研究で年3回の研究授業を行い講師の指導を受ける。 ・学年・学級経営の充実を図る。(OJT研修) ・委員会の改編、児童会及びクラブ活動を活性化させる。	「みんなで話し合ったり活動したりすることが楽しい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	A	A	○規範意識と豊かな人間関係を育む教育の推進 ・校内研究で年3回の研究授業を行い講師の指導を受ける。 ・学年・学級経営の充実を図る。(OJT研修) ・改編した委員会活動の活性化及びクラブ活動編成等の変更、充実。	
8	I 健全育成	特別支援教育の充実	教育相談体制の充実	「先生たちはよく話を聞いてくれる」を80%以上にする。	SC、特別支援教室巡回指導教員、専門員等との連携を深めるとともに、校内委員会の充実を図る。	・月1回以上の校内委員会 ・SC、特別支援教室巡回指導員、専門員と校長との各連絡会を随時もち、情報交換を行う。(2週間に1度程度)	「先生たちはよく話を聞いてくれる」が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 50%以上 D: 50%未満	B	B	A	○教育相談体制の充実 ・月1回以上の校内委員会実施 ・SC、特別支援教室巡回指導員、専門員と校長との各連絡会を随時もち、情報交換を行う。(2週間に1度程度)	
9	I 健全育成	日本人としての自覚と豊かな国際感覚をもつ人材の育成	規範意識と豊かな人間関係を育む教育	「学校は楽しい」を80%以上にする。	生活指導の徹底と学年・学級経営の充実を図る。	・返事・あいさつ・靴揃えを徹底する。 ・「温かく・厳しい」支持的風土の学年・学級をつくる。	「学校が楽しい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	A	A	○生活指導の徹底と学級・学年経営の充実 ・返事・あいさつ・靴揃えを徹底する。 ・「温かく・厳しい」支持的風土の学年・学級をつくる。一学年会の充実	
10	I 健全育成	4×4の取組	4×4の取組	「オリ・パラ」の学習をレガシーとして継続していく。	アスリートやスポーツ選手を招聘した授業を展開する。(年に数回)	・「4つのアクション」のうち学ぶ(知る)、する(体験・交流)に重点を置き、授業を展開する。 ・GT、ATとしてアスリートやスポーツ選手を招聘した授業を展開する。	「レガシーに関連する学習が楽しい」が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	B	B	○オリンピック・パラリンピック教育の精神を生かした学校2020レガシーの構築 ・「4つのアクション」のうち学ぶ(知る)、する(体験・交流)に重点を置き、授業を展開する。 ・GT、ATとしてアスリートやスポーツ選手を招聘した授業を展開する。	
11	III 教育環境の整備	各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進	ライフ・ワーク・バランスの改善	ライフ・ワーク・バランスの取組みについての満足度を75%以上にする。	教員が「働き方改革」を意識できるようにする。	・「See you tomorrow day」(定時退勤日)を週1回以上設定する。	「満足・概ね満足」(教職員)が A: 75%以上 B: 60%以上 C: 40%以上 D: 40%未満	A	B	B	○「働き方改革」について教員の意識向上と実践化 ・「See you tomorrow day」(定時退勤日)を週1回以上設定の継続と個人差の解消	